

分担金・拠出金の名称	特定通常兵器使用禁止・制限条約締約国会議(CCW)分担金		評価	C		
拠出先の国際機関名	国際連合欧州本部					
国際機関の概要	特定通常兵器使用禁止・制限条約は、国防及び人道上の要請のバランスを保つとの考え方の下、兵器自体の効果又はその使用方法のいかんによっては非人道的効果をもたらす特定の通常兵器について国際的規制を設けるもの。議定書の運用及び状況の検討、新たな議定書の作成、枠組条約及び議定書の改正、締約国の報告から生ずる問題の検討、地雷等の無差別な効果から文民を保護するための技術・規制方法の検討等の活動を行う本件条約の締約国会議及び関連会議開催経費の支弁に活用されている。					
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況				
1. (1) 成果目標:我が国重要外交課題である軍縮・不拡散の促進 活動指標:新型兵器等の通常兵器等の使用規制の強化のためのCCWにおける働きかけ・助言の着実な実施	CCWは、通常兵器の開発・製造技術の向上等を考慮しつつ、通常兵器の使用の禁止及び制限のための条約の実施及び新技術及び新型兵器等への対応のために議論を行っているが、現在は、現存しないが将来開発されることが懸念されている、自律型致死兵器システム(LAWS)についての先駆的な開発の禁止及び使用の禁止について議論を行っており、新型兵器の規制及び対応に向けた働きかけ・助言を実施し、我が国的重要外交課題である国際社会における平和と安定に積極的に貢献している。					
(2) 成果目標:CCWにおける我が国の発言力・影響力を確保する 活動指標:専門家会合等における政策的・技術的観点からの提案やプレゼンテーションの実施	CCWにおいて、自律型致死兵器システム(LAWS)についての過去2回、専門家会合を開催し議論を行っているが、専門家会合に我が国の専門家を派遣し、ロボット技術先進国である我が国からの政策的・技術的な観点からの提案及びプレゼンテーションを積極的に行い、CCWに対する我が国の発言力・影響力を確保してきている。					
(3) 成果目標:CCW履行支援ユニット(ISU)が予算の適切なマネジメントを行う 活動指標:予算管理の効率化の促進	予算の適切なマネージメント及び透明性を高めるために、英及びそのほかの関心国と共同で会議費の見積もりの信頼性の向上のために説明を求めたり、国連財政部に対して国ごとの繰越金の提示の要求を韓国と我が国で共同して行ったところ、国連欧州本部より、同本部が行っている諸雑費の内訳の明確化、見積もりの信頼性の向上、プログラム管理経費の妥当性、会議費微収要領の改善案に関する措置等につき説明があり、また、マネージメントの向上を継続して行っていくことが確認された。					
(4) 成果目標:我が国人材の知見、専門性を通じたCCWへの貢献 活動指標:邦人職員の送り込み・採用に向けた取り組みの強化	ISUは、職員数が3名と小規模な組織であること、また、職員になるためには、条約の対象となる兵器の専門的な知識及び高度の英語力が求められることもあり、現時点では邦人職員は存在しない。他方、今後、邦人の職員の送り込みを実現すべく、職員に求められる具体的な素質、将来の求人の可能性、あり得べきタイミング等について情報収集等を行っている。					
2. PDCAサイクルの確保	CCWにおいては、以下のとおり、PDCAを確保。①Plan:締約国会議で次年度分予算案を議論、承認。②Do:我が国の分担金支払。ISU(履行支援ユニット)による予算案執行。③Check:締約国会合において、報告書による運営活動の成果を評価。④Act:締約国会合にて、運営における要改善事項を提言。					
担当課・室名	軍縮不拡散科学部通常兵器室					